



In OSAKA 35th

脳卒中治療を支える医療技術と 臨床工学技士の挑戦

「BRAIN CE」「NEUROSURGERY CE」そんな“ワード”はまだない。しかし、脳神経分野で活躍するCEは多岐にわたって存在する。厚生労働省から「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」が公布され、業務の見直しとタスク・シフト/シェアが推進された。これにより、CEが脳血管内治療に新たに参画、循環器カテーテル業務からさらに業務拡張するきっかけとなったに違いない。

臨床工学技士会において、脳神経分野のCE業務は確立しているとは言いがたい。このタスク・シフト/シェアの流れがある今、CE業務を確立すべき啓発活動が必要と考える。

今回、脳神経分野で活躍するCEの方々より、得意とする業務と将来性や現段階での問題点を述べていただき、会場の皆様と討論したい。

座長

藤森 亘

脳神経センター大田記念病院

山口 裕司

広島市立北部医療センター安佐市民病院

演者

徳田 直樹

済生会滋賀県病院

大仁 美千雄

榮昌会吉田病院

濱口 啓介

聖隷浜松病院

眞田 笑吉

杏林大学医学部付属病院